

第二次名張市子ども読書活動推進計画施策総括

平成30年1月作成

指針1：家庭、保育所〔園〕・幼稚園における読書活動の推進

1 絵本の充実と整備

<p>施策・方針</p>	<p>ア 絵本購入費の確保に努め、子どもの年齢やそれぞれの発達に応じた絵本を充実し、子どもたちが魅力ある本を手にとって見ることができる環境の整備を行います。</p> <p>イ 子どもと本の出会いをより充実させるために、保育所〔園〕・幼稚園の図書館訪問や移動図書館の活用を推進します。</p>
<p>総括</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所・幼稚園では、毎年図書購入費の確保に努め、子どもの年齢や発達に応じた絵本の購入を行いました。 ・保育所〔園〕・幼稚園において、繰り返し本を読む機会を設け、絵本に興味を持てるような取組や、すぐに手に取って絵本を楽しむことができるような絵本コーナー等の環境づくりを行いました。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本の充実と整備を行うため、図書購入費の増額や絵本コーナーの充実等の環境づくりに向けての取組を引き続き継続していく必要があります。 ・各施設の絵本の整備には限りがあることから、市立図書館の児童サービス担当司書と連携を図り、また団体貸出や移動図書館を活用し、幅広いジャンルの絵本に触れる環境作りを行うことが必要です。

2 読書活動推進のための取組

<p>施策・方針</p>	<p>ア 保育士・幼稚園教諭対象に、子どもの年齢・成長に適した選書や読み聞かせの効果的な方法等を学ぶ研修の機会をもちます。</p> <p>イ 保護者と子どもが本を介してコミュニケーションを深めるために、ブックスタート事業を継続させるとともに、保護者向けの読書活動に関する講座を開催するなど、家庭、保育所〔園〕・幼稚園への積極的支援を行います。</p> <p>ウ 市立図書館と連携し、読み聞かせ等のボランティアの活用を図るとともに、各保育所〔園〕・幼稚園でのボランティアの受入を進めます。</p>
<p>総括</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士、幼稚園教諭のスキルアップを図るため、読書や選書に関わる内容の研修の情報を提供し、参加呼びかけを積極的に行い、17施設のうち6施設が職員や保護者向けの研修を実施しました。 ・企業等の寄付によりブックスタート事業が継続できています。また、開催場所の見直しを図ることで、参加親子数は12月末時点で事業対象家庭421家庭中291家庭と、わずかではありますが参加率が向上しました。 ・各保育所〔園〕・幼稚園ではなかよし広場の時間に、またこども支援センターかがやきやマイ保育ステーションでは読み聞かせの日を決め定期的の実施し、未就園児のいる家庭に向け、乳児期からの読書習慣を育むことの大切さを伝えるための取組を推進しました。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所〔園〕・幼稚園でのボランティアによる読み聞かせを実施している施設は4～7施設で推移していますが、読み聞かせの他、絵本の管理や絵本の環境整備へのボランティアの導入も検討していくことが必要です。 ・引き続き、保育士・幼稚園教諭の選書の能力や読み聞かせの技術等を高めていくことが必要です。 ・保護者に子どもの読書の大切さを考える機会となるよう、「子ども読書の日」に関する取組を各園で実施していくことが必要です。

第二次名張市子ども読書活動推進計画施策総括

平成30年1月作成

指針2：小・中学校における読書活動の推進

1 学校図書館の資料の充実

施策・方針	ア 国の平成24年(2012年)度からの「学校図書館図書整備5か年計画」に基づき、「学校図書館図書標準」達成率100%の学校の割合を、まずは、三重県平均レベルの小学校39.7%、中学校24.4%とすることを目指し、「更新冊数」も含めた資料の充実のため、図書購入費等の財源を確保していくよう努めます。
総括	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none">・分類ごとの蔵書比率に鑑み、適切な購入を進めることで、市内の学校図書館図書標準の平均は年々上昇し、第二次名張市子ども推進計画の策定当初と比較すると7.5ポイント上昇しました。・学校図書購入備品費については、毎年財源を確保し、学校図書館を充実させることができました。また、学校図書館教育充実事業を実践することで財源を確保し、先進事例について広く各学校に周知を図るとともに、資料を充実させて魅力ある学校図書館となるよう取り組みました。その中で、季節やテーマに応じた本を提示する等の環境整備を進め、授業等で活用できるように支援を充実させました。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none">・公立の義務教育諸学校において、学校図書館の整備を図る際の目標として、校種別にクラス数を基準にして算出する蔵書冊数である「学校図書館図書標準」については、5年間を通じて100%達成校は1校で5.3%でした。学校図書館標準については、三重県平均レベルには達していませんが、5年間で5.1ポイント上昇しており、今後も引き続き取組を継続していく必要があります。

2 人的体制の整備

施策・方針	ア 学校図書館支援員を引き続き配置し、各学校の図書館整備と子どもの読書活動推進の支援を行います。 イ 子どもと本のつなぎ手となる学校図書館の専任職員としての「学校司書」の配置にむけての検討を積極的に行います。 ウ 「名張市教育センター」の機能を活用し、各学校の司書教諭等と連携しながら学校図書館の充実に向けた支援の体制づくりをすすめます。 エ 司書教諭等や学校図書館ボランティアのスキルアップを目指し、研修の充実に努めます。
総括	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none">・平成27年4月1日に学校図書館法の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、学校図書館支援員を学校司書として位置づけ、学校における子どもの読書活動を司書教諭をはじめとする図書館教育担当者と学校司書が協働して推進してきました。第二次名張市子ども読書活動推進計画に伴い、平成25年度から5か年計画で学校図書館教育充実事業によりモデル校を中心に学校図書館の環境整備も行ってきました。これらの取組により、授業においても、学校司書が司書教諭等を支援することで、学習が深まり読書の幅が広がる等の成果が表れています。・学校図書館活動を充実させるために、教育センターでは、図書館ボランティア・学校司書・司書教諭等の研修講座、子ども読書活動推進講座を年2回開催し、司書教諭・学校司書・学校図書館ボランティアがともに学び情報交換をする場を設定し、活動の幅を広げることができました。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none">・引き続き学校司書を配置し、担任とともに授業を行うこと等により、子どもの学習を深め読書の幅を広げる等、読書活動をさらに推進する必要があります。・今後も研修講座を開催することで、司書教諭・学校司書・学校図書館ボランティアの資質を向上させ、学校図書館の充実を進める必要があります。

3 読書活動推進のための学校の取組

<p>施策・方針</p>	<p>ア 小・中学校図書館のコンピュータ管理への支援、小・中学校図書館のネットワークの構築、新刊図書配置の支援、司書教諭等への支援等、学校図書館の活性化に努めます。</p> <p>イ 読書活動推進のため、保護者への啓発を学校にはたらきかけるとともに、PTAとも連携を取り、子どもの読書活動推進の大切さについて、「懇談会」「講演会」「親子読書会」など様々な機会が発信します。</p> <p>ウ ^{ウチドク}家読の推進が図られるよう支援します。</p>
<p>総括</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書資料のデータベースを活用して、すべての学校においてバーコードによる貸出が実用化できました。そのことにより、貸出密度や分類ごとの蔵書比率を把握し、学校図書館の運営や資料の充実に生かすことができました。さらに、学校司書と連携して、必要な資料を他校から借用し、児童生徒の学習に生かすことができました。 ・教育センターからは、4月23日の「子ども読書の日」に「うちどくのおすすめ」を記載した「としょだより」を配布し、家読の推進を図りました。また読書週間に合わせた10月、学年末にも「としょだより」を発行しました。各校からは、新刊図書やビブリオバトルの活動の紹介等、工夫した図書だよりを発行し、家庭における読書活動を推進しました。 ・新しい本の紹介、ブックトークや読み聞かせ、夏季休業日中に学校図書館を開放し読書感想文の指導等、学校司書が授業や委員会活動に関わる取組が進んできています。 ・校内放送やポスター掲示によるおすすめの本の紹介や子どもたちが興味をもちそうな本を教室に配置する等、小中学校における子どもたちが活動する図書委員会等の活動が活性化しました。 ・ボランティアと連携し、朝の読書時間等に読み聞かせをする取組を行いました。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館教育の活性化に向けて、司書教諭、担任、学校司書が連携して取り組んでいくことが必要です。 ・各校が魅力ある「としょかんだより」を発行する等、PTAや地域に呼びかけ、共に読書活動や学校図書館の活用を推進していく必要があります。

第二次名張市子ども読書活動推進計画施策総括

平成30年1月作成

指針3:市立図書館における子どもの読書活動の推進

1 市立図書館の児童書の充実

施策・方針	<p>ア 市立図書館の全蔵書冊数に占める児童書の割合の目標値を25%程度とします。</p> <p>イ 保育所〔園〕・幼稚園や学校図書館への団体貸出用児童書の収集に努めます。</p> <p>ウ 内容が古くなったり傷みが激しくなったりした児童書を廃棄して蔵書の更新に努めます。</p> <p>エ 長く読み継がれて傷んできている児童書の買い替えに努めます。</p> <p>オ 身体の不自由な子どもたちのための点字図書や録音図書などの充実や、外国人の子どものための外国語の図書の充実に努めます。</p> <p>カ 以上のことを実現するための予算の確保に努めます。</p>
-------	---

総括	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二次計画策定時点の数値と比較すると全蔵書冊数に対する児童書の割合が、0.3ポイントの増、全貸出冊数に対する児童書貸出冊数の割合が、1.8ポイントの増とそれぞれ取組の成果が現れました。 ・大型絵本等の団体貸出用の児童書を収集し、学校での読み聞かせ等に活用いただきました。 ・図書整理日等に蔵書を点検し、随時買い替えと更新により、児童サービスの充実に努めました。 ・活字や日本語による読書が困難な子どもの利便性の向上に向けて、録音図書の提供と外国語の図書購入に係る情報収集を行いました。 ・児童書の充実に努めるため、ネーミングライツの募集を、平成27年度に行いましたが、応募がありませんでした。次期募集を見据え、平成28年度以降に係る情報収集を行いました。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体貸出の対応を視野に入れて、蔵書構成に留意しながら児童書の充実に努める必要があります。 ・ネーミングライツだけでなく、ファンドの活用や寄贈図書の受入等も視野に入れ検討を進める必要があります。
----	---

2 人的体制の整備

施策・方針	<p>ア 児童サービスに関する専門的な知識を修得した児童サービス担当司書の確保により児童サービスに関する知識や技術の蓄積に努めます。</p> <p>イ 職員やボランティアの児童サービスの技術力の向上につながる研修等を年2回以上実施するよう努めます。</p> <p>ウ 市立図書館のボランティアや学校図書館ボランティアの他、子どもの読書活動にかかわるボランティアグループの組織化やコーディネートを行う受入体制を整備し、市立図書館内外で活動できるよう支援に努めます。</p>
-------	---

総括	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童サービスに関する専門的な知識を修得した、児童サービス担当司書を配置し、来館児童への読書相談と児童の来館につながる企画展示を実施しました。 ・職員やボランティアの児童サービスの技術力の向上につながる研修会等を教育センターと共同で、計画期間中に11回実施しました。 ・図書館ボランティアとあらゆる機会を通じて意見交換を行うと共に、活動記録ノートを作成しボランティアグループとの情報共有により、利用者目線での児童サービスを行うことができました。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、ボランティアの組織化とコーディネートを行う受入体制の整備を進めていく必要があります。
----	---

3 地域における子どもの読書活動推進のための取り組み

<p>施策・方針</p>	<p>ア 子どもを対象にしたサービスの内容や催しのあり方を再検討して、更なる子どもの読書活動の積極的・計画的な推進に努めます。</p> <p>イ 保育所〔園〕・幼稚園への移動図書館巡回の拡大や、団体貸出利用の推進に努めます。</p> <p>ウ 県立高校図書館・高等専門学校図書館と連携して、ヤングアダルトサービスを展開するとともに、その計画的な推進に努めます。</p> <p>エ 子育てを支援する様々な施設で親子がくつろいで読書を楽しめる環境づくりのため、関係部署との協議を進めます。</p>
--------------	--

<p>総括</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館業務委託事業者と連携しながら、協議を進め計画期間中、おはなし会等に、延べ4,459人、拡大版おはなし大会に延べ173人、としょかんまつりおはなし大会に延べ245人、ブックスタートに延べ1,700人の参加を得て、地域における子どもの読書活動を推進することができました。 ・児童書等を無料で提供するリサイクルコーナーを設けることや、「出前トーク」での図書館の活動紹介や読書活動の意義・重要性の説明を通して、子ども読書活動の周知を図ることができました。 ・保健センター・公民館(市民センター)等の子育てを支援する施設に移動図書館の巡回を行いました。また、保育所〔園〕・幼稚園への巡回の拡大について検討を行いました。拡大には至りませんでした。 ・(株)アドバンスコープと共催し、本の帯コンクールを実施し、小中学校の読書活動の推進に努めました。 ・団体貸出については、年度により増減はありますが、増加傾向にあります。 ・小中学校校長会代表や県立高等学校司書の方に、図書館協議会委員として参画いただき、図書館運営や選書に対してアドバイスをいただくなどにより、ヤングアダルトを対象にしたサービスの充実に努めました。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10～12才、13～15才、16～18才と年齢層が上がるにつれて、貸出冊数が減少している原因の究明と対応が必要です。
-----------	---

4 市立図書館による学校図書館支援

<p>施策・方針</p>	<p>ア 小・中学校の司書教諭等や県立高校学校司書との連携を強化し、学校図書館支援のあり方を検討のうえ、具体的な実施計画を策定します。</p> <p>イ 子どもの施設見学・職場体験を積極的に受け入れ、図書館への興味を深めさせることにより、子どもの読書活動の推進に努めます。</p> <p>ウ 図書館業務受託事業者による小・中学校への学校図書館支援を継続します。</p> <p>エ 県立図書館のサービスを活用した学校図書館支援について検討します。</p> <p>オ MILAIに参加している県立高校図書館との相互協力に努め、また、MILAIに参加していない高等専門学校図書館との相互協力についても検討し、蔵書の効果的な活用等の連携方法の研究を進めます。</p>
--------------	---

<p>総括</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校への学校図書館支援にあたっては、年度初めに各学校に事前調査を行い、年間計画を策定し、学校訪問を実施すると共に、小学校への団体貸出を実施し、調べ学習に利用する資料や授業に必要な資料を計画期間中に、12,163冊の貸出しを行うことができました。 ・計画期間中施設見学(小学校31回)、職場体験(中学校20回、高校7回)の受け入れを行って、図書館への興味を深めてもらうことができました。 ・小学校の学校図書館を訪問し、ブックトークや読み聞かせを行うと共に、団体貸出や移動図書館の巡回により、学校の読書活動や調べ学習について、支援をすることができました。 ・市立図書館が所蔵していない図書について、県立図書館等の協力館からの借受により、学校図書館支援を行うことができました。 ・県立高等学校との相互貸借について、県立高等学校へ、団体貸出を実施しましたが、県のシステム上、県立高等学校からの借受はできませんでした。また、県立高等学校司書に図書館協議会委員として、図書館運営に関して参画いただいて読書活動推進に向けたアドバイスをいただくなどの連携を図ることができました。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立図書館のサービス活用に向け、図書館のHP内で三重県立情報ネットワークMILAIが利用できるよう図書館情報システムの見直しが必要となっています。
-----------	--